

喫煙対策

2016年度に全社喫煙率30%以下の目標値を達成したため、新たな喫煙対策の「第二次活動計画」を策定し、喫煙対策を強化。これまで受動喫煙対策として、屋内喫煙所の廃止、禁煙デーの実施と頻度の増加、就業時間内（昼休みを除く）の喫煙不可等の各種施策を実施してきました。

現在は、毎週水曜日の禁煙デーの実施、紙巻きたばこの敷地内禁煙による受動喫煙対策を実施しています。

卒煙支援では、卒煙サポート講演会や健康診断時の個別禁煙指導を行い、喫煙者一人一人へ喫煙による健康被害について教育等の啓蒙活動を実施。喫煙率は5年で10%近く低下する事に成功しました。今後は更なる喫煙率低下を目指しています。

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
喫煙率目標値 (%以下)	30.0%	30.0%	28.8%	25.7%	24.7%	23.7%	21.6%	20.4%
実績	31.1%	28.8%	26.7%	24.8%	23.9%	22.6%	21.4%	21.2%



禁煙デー（屋外喫煙所に掲示）



卒煙サポート講演会

がん対策

人間ドックの全額相当費用補助

がん検診の受診率向上に向け、人間ドック受診を推奨。がん検診の啓発資料を配布・展開し、啓蒙活動を強化実施するとともに、2020年10月からは40歳以上の受診者に対し、健康保険組合の補助に加え、会社独自の受診費用の補助を開始。さらに2022年度より、補助額を増額し、全額相当の費用補助（1回/4年）を開始し、より人間ドックを受診しやすい環境を整えています。



女性がん検診の社内実施

女性のがん検診を受けやすくするための環境整備として、2021年度より社内で女性がん検診を実施。全員女性スタッフで対応するなどプライバシーの配慮や、受診者の費用負担は無料、平日の業務の合間に受診可にするなど、より受診しやすい環境づくりを心がけています。2021年度は2020年度に比べ、約3倍受診率が向上。2023年度以降も2年に1度の実施を予定しています。

女性がん検診の受診率(社外受診含む)

年度	2019	2020	2021※	2022	2023※
乳がん受診率	18.9%	10.3%	33.3%	19.2%	36.1%
子宮頸がん受診率	12.7%	8.6%	23.2%	14.7%	24.8%

※社内女性がん検診実施により受診率向上



社内女性がん検診風景



女性がん検診バス

感染症予防

季節性インフルエンザ・風しん等の感染症防止

流行シーズン前に、社内で昼休憩時間にインフルエンザワクチンを取引先企業社員や派遣社員等も含め、希望者に接種しています。社外で接種する場合でも、やすらぎ休暇※でワクチン接種可能と接種しやすい環境を整えています。

また2021年度の定期健診時に、1962年～1978年度生まれの男性希望者に対し、風しん抗体検査を実施しました。

※やすらぎ休暇：前年度から繰り越された有給休暇を当年度内に使用しない場合、残存日数を最大20日まで積み立てることができる休暇のこと。

新型コロナウイルスの感染拡大防止策

2023年5月8日の5類引き下げを受け、2023年6月より社内防疫ルールを見直した上で、以下の感染対策は継続中。

- ・発熱・体調不良時の上司報告や自宅療養・医療機関受診の徹底
- ・社内出入り口に手指消毒剤を設置
- ・昼休憩の3交代→5交代制での分散休憩を実施

等

熱中症対策

暑さが本格的なる前に、熱中症予防方法について啓蒙資料を作成し社内展開。

また、5月～10月末までは希望部署へ熱中飴タブレット・経口補水液の配布や、社内設置の自販機で、スポーツドリンクを通常価格より安価で購入できるよう補助をしています。

また、熱中症疑い者に対し、速やかに対応できるよう、冷却剤や経口補水液を社内各所に常備しています。